

資料-15-1

遺伝子組換え実験

動物種	遺伝子組換え 実験計画書承認数	P1A	P2A	P3A
マウス	55	53	2	0
ラット	2	2	0	0
カニクイザル	8	8	0	0

一承認でマウスとカニクイザルを用いるP1A試験が1件あり、P2A試験が1件あり。一承認でマウスを用いるP1AならびにP2A試験1件あり。

資料-15-2

感染実験

動物種	安全度レベル	計画書承認数
マウス	ABSL1	3
マウス	ABSL2	2
ラット	ABSL1	1
カニクイザル	ABSL2	1
カニクイザル	ABSL3	1

一承認でマウスのABSL1とABSL2の試験1件あり。

資料-15-3

動物種別承認数と、遺伝子組換え動物使用及び感染実験等

動物種	承認数/ 全承認書数	遺伝子組換え実験、感染実験等の件数		
		遺伝子改変 個体使用承認数	感染実験	その他一般実験
マウス	85(61.6%)	55	5*	29
ラット	13(9.4%)	2	1*	11
モルモット	3(2.2%)	0	0	3
ウサギ	9(6.5%)	0	0	9
ブタ	1(0.7%)	0	0	1
イヌ	2(1.5%)	0	0	2
カニクイザル	23(16.7%)	8	2	13
魚類	1(0.7%)	0	0	1
アメリカザリガニ	1(0.7%)	0	0	1
	138**(100%)			

*遺伝子組換え+感染試験4件

*遺伝子組換え+感染試験1件

**実験計画書の承認数は「133」であるが、一承認でマウスとウサギを使用する実験が1件、マウスとカニクイザルを使用する実験が4件あったため、合計を「128」として計算した。